

(仮称) エキスポランド跡地複合施設開発事業供用後中間報告
－ 環境取組実施状況 －

1 施設の存在

(1) ヒートアイランド現象の抑制

ア 緑化

- ・建物の一部に屋上緑化、立体駐車場の一部に壁面緑化
- ・外周道路沿い等の造成法面を緑化
- ・高木植栽を行うことによる木陰を創出

イ 屋根面の高反射化

- ・屋根面の大半に高反射塗料が施された製品を採用
- ・立体駐車場の屋上階の一部に高反射性塗料および高反射性シートを採用

ウ 窓ガラスの遮熱・断熱性能の向上

- ・一部の窓に Low-E 複層ガラスを採用

エ その他

- ・広場の一部に透水性舗装を採用
- ・外周道路の歩道に吹田市の焼却灰溶融スラグ配合のリサイクル舗装材を採用
- ・ドライ型ミストの設置

(2) 景観への配慮

ア 緑豊かな施設

- ・外周道路からの景観に配慮し、沿道に高木を植栽した緑地帯を配置
- ・可能な限り壁面・屋上緑化や高木緑化を実施
- ・広場内のシンボルツリーや花壇・大型プランター等による植栽、駐車場緑化、屋内緑化等による視認性の高い箇所への効果的で魅力的な緑化を実施

イ 夜間景観への配慮

- ・観覧車のイルミネーション等の夜間景観について、サーチライトを使用するなどの地区外に向けた照明、周囲の景観に違和感を与えるような演出は行わない

2 供用時

(1) 自然エネルギーの活用及び省エネルギー機器の採用

ア 環境配慮型の施設

- ・全 45 棟のうち 11 棟について、「大阪府建築物の環境配慮制度」に基づき評価した結果、主要な 2 棟（Ma 棟、K 棟）が A ランク取得

イ 断熱性能の向上

- ・一部の窓に Low-E 複層ガラスを採用

ウ 屋根面の高反射化

- ・屋根面の大半に高反射塗料が施された製品を採用

エ 自然採光システム

- ・ハイサイドライトによる、自然光の建物内への取り込み

オ オープンモール形式の採用

- ・一部の施設においてオープンモール形式を取り入れ、空調負荷を削減

カ 緑化

- ・建築物の一部に屋上緑化や壁面緑化、外構及び周辺の緑地造成

キ 太陽光発電の採用

- ・ソーラーパネルの設置

ク 高効率・省エネルギー型機器の採用

- ・空調設備にヒートポンプなど高効率の機器を採用
- ・全館（後方諸室のごく一部を除く）に LED 器具を採用

ケ 雨水の利用

- ・植栽の散水等に雨水を利用

コ 風力発電内蔵型照明

- ・外灯の一部に、風力発電を内蔵した照明を採用

(2) 廃棄物の減量・リサイクル

ア 廃棄物の発生抑制

- ・従量課金制度を導入

イ 不要品の再利用

- ・不要となったフロアガイドを回収し、館内で再利用

ウ 廃棄物の再資源化

- ・リサイクルボックスの設置等による、廃棄物の減量や分別排出などの周知徹底
- ・リサイクル業者への委託、より効率の良い取組の継続的検討
- ・草木（剪定枝等）について、再資源化を行う業者を選定

エ 店舗への周知・要請

- ・リターナブルコンテナやリユースハンガーの使用
- ・販売資材の使用量削減等の要請

(3) 施設からの騒音等の抑制

ア 低騒音型機器の採用

- ・空調設備等について、低騒音・低振動型の設備をできる限り採用
- ・防音性能のある目隠しフェンス等の設置

イ 騒音に配慮した建物・設備の配置

- ・屋外広場空間は建物で囲まれた配置

(4) 交通対策

ア 公共交通機関の利用の促進

- ・大阪モノレールの臨時便やバスの路線増便（JR 茨木駅～万博記念公園駅（エキスポシティ前））に加え、開業期、繁忙期にシャトルバス（例：梅田駅～エキスポシティ）を運行
- ・開業時の対応として、1DAY パステケットを販売（お買物券 500 円、販売社局指定の各エリアが乗り放題、モノレール接続駅から万博記念公園駅までの往復がワンパック）
- ・公共交通機関利用によるポイント進呈（別紙 2 参照）

イ 自動車動線の配慮

- ・適切な場所に適切な誘導看板を設置（別紙 3 参照）
開業期は、道路状況により、適宜臨時看板をもった整理員を配置した。

ウ 駐車場対策

- ・繁忙期、施設内の駐車場が不足した際に大阪府公園事務所駐車場への誘導を実施
- ・スタジアムでの試合開催日には、サッカー観戦目的での駐車場利用をお断りするため、通常の駐車料金とは別に「特別駐車料金」を設定（別紙 4 参照）

エ 滞留長の確保

- ・各入口には必要台数を上回る発券ゲートを設け、各入口から発券ゲートまで十分な滞留長を確保

オ 道路整備

- ・出入口に接続する道路の整備、要所となる交差点における車線構成の見直しなど（別紙 5 参照）

カ 渋滞情報の周知

- ・ホームページで駐車場の混雑状況をリアルタイムで提示
- ・スタジアムの試合前後などにおいては、館内での掲示や放送などにより渋滞状況を周知

(5) その他

ア エリア一括受電システムの導入

- ・万博公園南側ゾーンを対象エリアとした、エリア一括受電システムを導入

イ 電気自動車充電スタンドの設置

- ・5 台設置

ウ エネルギーの見える化

- ・BEMS を導入
使用エネルギー（電力、ガス、水道）をエリア別、テナント種別、機器別に把握し、省エネ対策や機器保全対策に生かしている。

エ 周辺道路のアメニティアップ

- ・関係機関と協議中